



生野高校  
77期 1年

# 学年通信 悉<sup>しつ</sup>有

第20号 (2023年 2月 16日)

大阪府立生野高等学校  
大阪府松原市新堂1-552  
072-332-0531(学校代表)  
072-332-0711(学年直通)

【学年通信は保護者の方にも見せてください】

## ◆学年通信「悉有」の11ヶ月

✓	発行号	内容
<input type="checkbox"/>	入学準備号	課されたものだけを「やっていけばいい」ではなく、「あんなことにも！こんなことにも！」と手を伸ばし、挑戦しよう
<input type="checkbox"/>	第1号	行事・図書館・SSH・国際交流・探究。積極的に取りに行く姿勢を
<input type="checkbox"/>	第2号	生活リズムを整え、ペース構築に努めよう
<input type="checkbox"/>	第3号	4月の授業内容を連休中に総点検して土台を固めておこう
<input type="checkbox"/>	第4号	スタサポの解き直し。スケジュール帳で予定や提出物の管理をしよう
<input type="checkbox"/>	第5号	“中学校4年生の試験準備”では不充分。計画的な試験勉強をしよう
<input type="checkbox"/>	第6号	前期中間考査の解き直し。時間無制限なら全問正解出来ますか？
<input type="checkbox"/>	第7号	短縮授業期間の過ごし方。夏の課題を、いつ・何をやるのかを明確に
<input type="checkbox"/>	第8号	スマホとの付き合い方を再考しよう。アテンション・エコノミーとは？
<input type="checkbox"/>	第9号	8月の短縮授業期間に学習ペースを整えよう。探究中間発表会の意義
<input type="checkbox"/>	第10号	探究中間発表会を自分たちの探究にどのように取り入れていくか
<input type="checkbox"/>	第11号	前期期末考査に向けて。学習計画・提出物予定の全体像を把握しよう
<input type="checkbox"/>	第12号	解き直し＝どの学習内容を使えば正解を導けるのかを明確にしていく営み
<input type="checkbox"/>	第13号	前期成績＝後期への改善法を考え、実践していくためのチェックポイント
<input type="checkbox"/>	第14号	真理がわれらを自由にする——食欲に、色んなことを知っていこう
<input type="checkbox"/>	第15号	セカンド、サードペンギンが現れることで、社会は変えられる
<input type="checkbox"/>	第16号	目標のGTZ (Sゾーンに入る・A2までに入る) 到達に向けてやるべきこと
<input type="checkbox"/>	第17号	「2023年、わたしの心がけること」・1～3月は1年生の総復習期間
<input type="checkbox"/>	第18号	共通テストの問題に目を通してみましたか？イメージをつかもう
<input type="checkbox"/>	第19号	インプットをした上で、アウトプットを伴わなければ力はつかない

「メリハリが大事」「切り替えが大事」と言われたことはありませんか？それがどういう状況を指すのか、具体的に考えたことはありますか？

きわめて単純化すると

- 1) 取り掛かりが早い (パッと始められる)
- 2) 取り組む順番を心得ている

——ということだと、私(高崎)は考えます。

上記のリストを、どれくらい実行してみましたか？全部やってしましましょう…とまでは言いません。しかし、いずれも“今やる”ことに意味のあることばかりです。

定期考査や模試の解き直し——試験を受けたり答案返却の近いうちに取り組むのと、ずっと後になってから取り組むのでは、かかる時間に違いはそれほどありません。しかし、絶対的に前者の方が効果はあります。

共通テストの問題に触れておこう——ざっと目を通して感覚をつかむだけなら誰にでもすぐに出来ることです。そして、促されてすぐに目を通して、1年後に目を通して、それほど所要時間に違いはありません。しかし、先に目を通しておき、感覚をつかんでいる状態で普段の学習に臨む方が、絶対に効果があります。

そもそも、解き直しをずっと後に置いておく人は結局のところいつまでも解き直しをせず、目を通すことを1年後までしない人は結局のところ感覚をつかめないまま“効率のよい勉強”とやらに飛び付き、最後まで感覚をつかめぬままになりがちなのです。“いま出来ることは、いまやってしまう”ということの価値を、もっと前向きにとらえてほしいと思っています。

“3年になってから初めてそれをやりますか？”

2年から出来ることは2年のうちに、1年から出来ることは1年のうちに始めておきませんか？ “

——これもまた、大学受験の鉄則です。このことは2年になってから、改めて説明します。

物事は、取り組む順番も大事です。普通の時間の使い方、【スマホ→のち、学習】ならば、例えば学習時間が同じでも【学習→のち、スマホ】の方が効果的です。前者は“ダラダラスマホ+ダラダラ学習”の典型例で、結局は“ダラダラスマホ+学習0分”を誘発しますし、就寝時刻が遅くなり、睡眠不足→授業中の眠気につながります。また、スマホは気分転換のつもりであっても、実は脳にはかなり負荷がかかっているとのこと。わざわざ疲れた頭の状態にしてから学習に入る必要はありません。後者では“あともうちょっと…”“キリのいいところまで”が、学習時間の積み上げにつながります。

同じ所要時間でも、前後を入れ替えるだけで効果が異なるなら、やらない手はありません。出来るかどうかは、自律しているか、自分を甘やかしているか——その差だけです。

## ◆1年間の成長の総仕上げ

学年集会で話したように、77期入学生の全員が、一歩ずつ成長しています。どの教科でも、昨日まで挑んでさえなかった問題に、今日は挑んでいる。演習をして、明日には解けるようになっていく。昨日まで知らなかった固有名詞を、今日はプリントに書き込み、明日には全体の流れの中に位置付けられている。成績が下がったと感じている人も、周囲との伸び率の違いからそう見えているのであって、4月の自分と比べると、いまの自分は必ず成長しています。

後期期末考査は、そうした1年間の成長の総仕上げ。“このレベルの問題で、この点数を出せるようになったか…”と思える結果に向けて、しっかり励みましょう。

## ◆77th 修学旅行 概要

【日程】2023年12/4(月)～7(木)の3泊4日間

【方面】沖縄県 八重山諸島方面 (石垣島 他)

【行程】

- 1日目：関西空港 or 伊丹空港→石垣空港  
(一部、那覇空港で乗換えあり)  
石垣島内観光  
ロイヤルマリンパレス石垣島 泊
- 2日目：コース別体験  
西表島・竹富島・石垣島内体験 等  
クラブメッド石垣島 泊
- 3日目：クラブメッド内アクティビティ  
クラブメッド石垣島 泊
- 4日目：石垣島内観光  
石垣空港→関西空港 or 伊丹空港  
(一部、那覇空港で乗換えあり)

南国リゾートの修学旅行コースですが、“用意されたコンテンツ”を消費する楽しみ方だけでは本当に勿体ない(値段程度の価値しか受け取れません)。沖縄の離島という環境に身を置いて、何を思うのか、何を感じ取るのか、何を新たに知るのか——よく観察すると、大阪に住む私たちにとっては実に情報量の多い環境です。高校生のいまだからこそ得られる経験を、たくさん持って帰ってほしいと思っています。